

# ＜診察室から＞脳卒中回復期リハビリテーションとは？ ～機能回復・在宅復帰を目指すチーム医療～

2023/12/22 20:10



「大晦日 二人向かひて窓磨き」

今年も残すところわずかとなりました。今回は脳卒中回復期リハについて、当院での取り組みを例にご紹介します。

当院では脳卒中の患者さんの転院が決まったら、看護師同乗の上、病院車で急性期病院にお迎えにあがります。転院後まずは外来で主治医による診察、心電図、各種レントゲン検査、頭部CTの後、ご本人、ご家族に向けた病状説明を主治医、看護師、MSW(医療に関する相談員)らと行い病棟へ入院、血液検査や尿検査なども行います。

昼食の後は15時から、先ほどのメンバーに加えリハリストッフ(PT=理学療法士、OT=作業療法士、ST=言語聴覚士)、看護助手、管理栄養士らと共に、しゃべりにくさ、飲み込みにくさ、手足の麻痺、歩行機能など評価し、ベッドサイドでの生活状況やリハビリ室での歩行評価など含め、入院後の食事、トイレ、入浴、移動など含めた日々のリハビリの計画を立てます。1週間後にはチームカンファレンスを行い、ご家族へも患者さんの改善状況など随時ご報告します。

そして在宅復帰のための家屋調査(段差のチェックや手すりの検討など)をリハスタッフはじめ多職種で行い、試験外出、試験外泊を経て自宅退院となります。退院日、患者さんやご家族が笑顔で退院されるのをお見送りするのが、医療スタッフとして一番うれしい瞬間です。

さらに当院では、医療スタッフがメンバーの「佐賀リハバンド」でロビーコンサートを行ったり、介護施設である夢館でも先日クリスマスコンサートを行ったりと、患者さんやご家族の笑顔が私たちの励みとなります。

おかげさまで、佐賀大医学部附属病院や県医療センター好生館はじめ、有明沿岸道路なども活用し、嬉野医療センター、高木病院、聖マリア病院など県内外の脳卒中急性期病院からも、たくさん患者さんをご紹介いただいております。

脳卒中になっても、脳卒中回復期リハ病院での積極的なリハビリに取り組み、機能回復、在宅復帰を目指していただければと思います。

(佐賀リハビリテーション病院 医局長 南里悠介)